

雲林寺

天明3年8月土石なだれに柱2本を残し消えた寺

■■■大地の活動■■■

大洞山雲林寺は吾妻郡長野原町大字長野原にあり、後閑（安中市上後閑）の長源寺の末寺となっています。1783（天明3）年の浅間山噴火による鎌原土石なだれで埋没しましたが、地元の有志によって再建されました。1783(天明3)年当時の住職は逃げ延びることができ、噴火前の記録や噴火時・噴火後の詳細な記録を今に残しており、火山噴火と人の歴史を学ぶのに最適な素材となっています。



大洞山雲林寺



天明3年噴火犠牲者の供養碑